



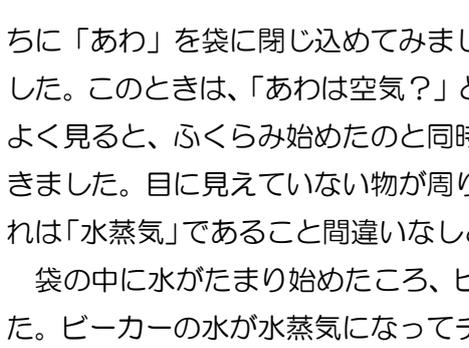
## 「あわは、あわじゃなかった!!」

4年「水のすがたと温度」の学習では、ふっとうする温度を調べました。また、ふっとうしているときに出てくる「あわ」の正体を実験を通して調べました。



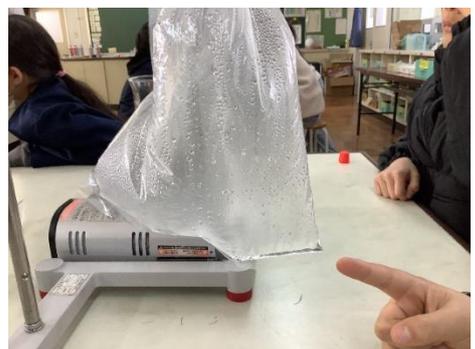
スプーンを湯気に近づけると、スプーンに水滴がつかまりました。このことから、湯気は、水ということが分かりました。

ということは、ふっとうしたときに出てくる「あわ」は、アルミの穴から出てくる湯気になる?



ということで、湯気にならないうちに「あわ」を袋に閉じ込めてみました。すると、袋が初めはふくらみ始めました。このときは、「あわは空気?」という考えも出てきました。しかし、よく見ると、ふくらみ始めたのと同時に、袋の内側にたくさんの水滴がつかまりました。目に見えていない物が周りの温度に冷やされて水滴になる。これは「水蒸気」であること間違いなしとなり、あわの正体が判明しました。

袋の中に水がたまり始めたころ、ビーカーの水の水位は下がっていました。ビーカーの水が水蒸気になってチューブを通して、袋の中に移動した



わけですね。結果をまとめ、このことから何が分かったかを考えました。ある児童が「あわは、あわじゃなかった!」と言いました。この児童は、「あわは、あわやん!」と実験前に行っていた児童です。水蒸気が水の中で空洞をつくったというわけです。

この水の姿が変わっていく様子をワークシートへまとめました。

